

令和3年度(補正予算) 独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業

失業・生活困窮等で孤立する LGBTQへの相談・就労支援モデル事業 事業報告書



認定NPO法人ReBit

認定NPO法人ReBitについて

2009年より、LGBTQを含めたすべての子どもが
ありのままで大人になれる社会を目指す、認定NPO法人です



1. 教育事業

- 学校/行政でLGBTQ研修を提供
(1300回/16万人)
- 行政や教科書会社と資材制作・監修



2. キャリア事業

- LGBTQへキャリア支援 (9000人)
- 企業や支援者研修 (300社/3万人)



3. 福祉事業

- 日本初、LGBTQフレンドリーな就労
移行支援事業所(障害福祉サービス)
「ダイバーシティキャリア」運営

取り組む課題

LGBTQは、生活困窮や精神障害における高リスク層。
しかし、76%が行政・福祉サービス利用時に
困難・ハラスメントを経験し、自死に繋がっています。

失業、困窮
精神障害等



自死
リスク

- LGBTQであることは、障害ではない。しかし、トランスジェンダーの35%がうつを経験する等、精神障害における高リスク層
- トランスジェンダーの40%が年収200万円以下等、LGBTQは生活困窮における高リスク層
- 特にコロナ禍、LGBTQの孤独や困窮が加速。
 - LGBTQの76%が、行政・福祉利用における困難やハラスメントを経験
- LGBTQは自死における高リスク層。自殺念慮をもったことがあるTは58%。「自殺総合対策大綱にも懸念が示されている。
- LGBTの自殺・うつによる社会的損失の試算値（暫定）は1,988～5,521億円との調査も。
- 一方、LGBTQ支援の公的資金はほとんどなく、常設の公的なLGBTQ支援機関は国内にない。

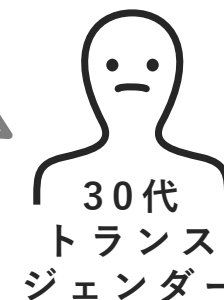
取り組む課題（実際の声）

支援者の無理解等により、安全網であるはずの福祉が安全に利用できず、安心して暮らせない現状が。



職場でセクシュアリティをアウティング（第三者への暴露）され、うつになり退職。就労継続支援事業所（福祉サービス）に通っていたが、LGBTQへ差別的な会話がされる度にハラハラした。支援員も全く知識がなく、カミングアウト後どう私に接したらいいのか分からないようだった。事業所に通い続けることができなくなり、病状悪化・自殺未遂。

障害福祉サービスにトランスジェンダーであることを開示することが不安で、相談できませんでした。障害フレンドリーだけでなく、LGBTQフレンドリーであってほしい。



生活保護開始時に、お金がかかるためホルモン治療をやめるように言われた。行政職員や福祉サービスの担当者もあまりにも知識や理解がなく、必死で治療の必要性を伝えても、誰一人として理解してくれず、失望した。

事業概要

LGBTQは、ひきこもり、生活困窮、精神疾患、自死等におけるハイリスク層であり、内閣府「孤独・孤立対策の重点計画」でも支援の必要性が記載されました。コロナ禍、LGBTQの失業・生活困窮等の状況はより深刻化する一方、76%が行政・福祉サービス利用時に困難やハラスメントを経験し、安全網であるはずの福祉を安全に利用できず、自死に繋がるケースもあります。

本事業では、（１）失業・生活困窮等の状況にあるLGBTQへ相談支援と就労支援を提供し、社会的なつながりを構築するとともに、（２）主に生活困窮者支援に取り組む行政・福祉事業所への啓発・連携を通じ、各地にLGBTQも安全に利用できる安全網を増やすことを目的とします。

事業成果

本事業は、失業・生活困窮等の状況にあるLGBTQのべ667人（直接支援のべ240人、オンライン研修提供のべ427人）へ、相談支援と就労支援を提供し、社会的なつながりを構築しました。また、主に生活困窮者支援に取り組む行政・福祉事業所のべ729人（意見交換・研修のべ623人、コミュニティ参加のべ106名）に啓発・連携等機会を提供し、各地にLGBTQも安全に利用できる安全網を増やすことに寄与しました。

取り組みと、効果・成果

4つの事業を通じ、障害等の複合的困難がある LGBTQのキャリア支援モデル構築へ

1) 相談支援（オンライン/対面/同行）

1. 目的：失業・生活困窮等の状況にあり、孤立・孤独に陥るLGBTQや、その周囲の人たち（友人・家族・支援者等）への相談/同行支援。
2. 内容：精神保健福祉士・キャリアコンサルタント等、専門家による相談支援を行いました。また、自団体では失業・生活困窮者へのキャリア支援を主とするが、シェルター運営、自死念慮に関する相談、24時間電話相談、福祉サービス等、他の団体とも連携し、本人の意思を尊重しながらリファーすることで必要な社会資源へつなげ、包摂的な支援を行いました。
3. 日時：2022年4月～2023年3月、随時
4. 場所：オンライン、東京都渋谷区（対面相談）、及び関東近郊（同行の場合）
5. 対象者層：全国の失業・生活困窮等の状況にあり孤立・孤独に陥るLGBTQ、その友人家族、支援者等
6. のべ人数：のべ240名（KPI達成240%）

所感：セクシュアリティや障害や生活困窮等の複合的マイノリティ性を含め、キャリアについて相談ができる場はほとんどないからこそ、自分らしく働く・生きることをともに考え、踏み出す一助となりました。なお、SNS広告を活用したり、各地のLGBTQ団体へ広報協力をいただくことで、広く相談ニーズにリーチができ、全国から広くご相談をいただきました。

取り組みと、効果・成果

2) 生活スキル支援・就労支援（講座開発・実施）

1. 目的：失業・生活困窮状況等にあり孤立・孤独に陥るLGBTQに向けた、生活スキル支援・就労支援講座の開発、オンライン提供。
2. 内容：自己受容（LGBTQの社会人のキャリアを知るロールモデル講座、LGBTQと精神障害の関連）、生活スキル（ストレス対応、福祉サービスについて、雇用と社会保険の仕組み）、働くスキル（履歴書の書き方）の3柱にわけて6つの講座をオンライン公開しました。
3. 日時：2022年4月～2023年3月、随時
4. 場所：オンライン、東京都渋谷区
5. 対象者層：全国の失業・生活困窮等の状況にあり孤立・孤独に陥るLGBTQ
6. のべ人数：6講座・のべ427名（KPI達成178%）

所感：自己受容、生活スキル、働くスキルの3柱にわけて6つの講座を公開しました。特にLGBTQの社会人のキャリアを知るロールモデル講座やトランスジェンダーが困りがちな履歴書の性別欄について等、LGBTQとキャリア支援を行う団体ならではの視点、そして、LGBTQと精神障害の関連性や福祉サービス利用について等、複合的マイノリティの支援をしている団体だからこそその視点でさまざまな講座を開発することができました。

取り組みと、効果・成果

3) 行政・福祉事業所への研修・意見交換を通じた啓発

1. 目的：LGBTQの76%は行政・福祉利用において困難・ハラスメントを経験。LGBTQも安全に利用できる安全網を各地に広げるために、行政・福祉事業所への啓発。
2. 内容：主に生活困窮者支援に取り組む行政・福祉事業所と意見交換・研修を行いました。なお、これまで行政/学校/事業者等へ1200回を超える研修提供をしてきたReBitの経験を活かし、生活困窮者支援に取り組む行政・福祉事業者向けの研修を開発・提供できました。なお、行政/福祉事業者や支援者から、LGBTQの利用者がいるがどう対応していいか分からない等のご相談も多数いただきました。
3. 日時：2022年4月～2023年3月、随時
4. 場所：オンライン、事業所（東京都渋谷区）、訪問先行政/福祉事業所
5. 対象者層：主に生活困窮者支援に取り組む行政・福祉事業者
6. のべ人数：のべ623人（KPI達成311%）

所感：行政福祉課や地域福祉資源のみなさんから、利用者や相談者にLGBTQの方がいるがどのように対応していいのか分からないというご相談も多数いただき、支援者支援や伴走の必要性を痛感しました。支援者の悩みや実践に伴走したことで、その先に利用者・相談者が適切な支援を受けられることにつながり、またLGBTQフレンドリーな行政担当課・福祉事業所づくりにもつながることを実感しました。

取り組みと、効果・成果

4) 行政担当者・福祉従事者育成

1. 目的：LGBTQも安全に利用できる安全網を構築するために、アライ（LGBTQの理解者・支援者の意）の行政担当者・福祉従事者をネットワークにつなげ育成。
2. 内容：上記意見交換・研修を実施した生活困窮者支援に取り組む行政担当者・福祉従事者を種対象としたオンラインコミュニティを創り、相互の学び合いの場を提供。学びを各自の職場で活かし、適切な支援が提供される場面を増やし、支援体制の構築に寄与しました。
3. 日時：2022年4月～2023年3月、随時
4. 場所：オンライン（slack）
5. 対象者層：主に生活困窮者支援に取り組む行政・福祉事業者
6. のべ人数：のべ106人（KPI達成353%）

所感：意見交換や研修等でつながった支援者の「さらに学びたい」という熱量をさますことなくネクストステップにつなげるために重要なコミュニティとなりました。ご登録いただいた支援者同士が、slack上での情報共有や自主的な勉強会の実施等、活発なコミュニティとなっており、支援者の相互の学びあいの場となっています。なお、コミュニティメンバーが自身の職場・大学・事業所等でLGBTQへの実践を先駆的に取り組んでくださる事例も出ていて、LGBTQも安心して利用できる社会資源が増える一助となっています。

< ご利用者さまの感想 >

満足度 **98%**

・他の場でキャリア相談をする際は、カミングアウトしていないのでいかに根底にある自分の経験をごまかすか考えながら話していましたが、この相談では、セクシュアリティに関する自分の経験もごまかすことなくお話できたので、自分の考えを整理できました。今後、他の場でキャリア相談した際になにかセクシュアリティについて言われたとしても「この個別キャリア相談を受けよう」という安心感を手に入れられてよかったです。参考になるサイトも紹介していただき、自分1人で考えていた時よりも視野が広がるきっかけになったと思います。様々なことを得られ、今回相談をしてよかったと心から思いました。ありがとうございました。

・セクシュアリティのことも含め、独りで抱え込みがちな就労に関する悩みも話せて、ツラかった気持ちがとても軽くなりました。

・今までセクシュアリティに由来したたくさん我慢してきました。職場や日常生活等で男女差別発言が多く、私は苦痛のなかで今まで生きてきたと思います。今回初めて相談できました。私は私の生き方をしているんだと安心しました。

・就活の意欲が出てきたので、そういう意味では貴重な財産が頂けた。

